

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 24.3.27 第 180 回国会第 4 号

3月27日(火) 第4回の委員会が開かれました。

1 競馬法の一部を改正する法律案(内閣提出第42号)

・鹿野農林水産大臣、筒井農林水産副大臣、仲野農林水産大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。

(参考人) 日本中央競馬会理事長 土川健之君

・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

(賛成 - 民主、自民、公明、きづな、社民、大地)

(質疑者及び主な質疑内容)

田名部 匡 代君(民主)

- ・地方競馬により、全体でどのくらいの雇用が守られているのか。
- ・平成16年及び平成19年に競馬法の改正が行われているが、これらの改正の成果はどのように出ているのか。
- ・新規の競馬ファン開拓のため、若者や女性、高齢者向けにどのような対策を講じているのか。

石川 知 裕君(大地)

- ・TPPに参加した場合、農林水産省の所管している法律と関係がある地方自治体の条例にどの程度の影響があるか、農林水産省として調査しているのか。
- ・ばんえい競馬は北海道遺産として登録されていること、ひき馬競争であること等から、他の地方競馬と異なる支援が必要ではないか。
- ・払戻率の見直しに対応するためのプログラム整備に対し、どのような支援策を考えているのか。

伊東 良 孝君(自民)

- ・競馬全体の不振の原因について、農林水産省としてどのように分析しているのか。
- ・平成21年度補正予算で措置された馬産地再活性化緊急対策事業の執行状況はどのようになっているか。また、執行残額がある場合、その理由は何か。
- ・中国に馬を輸出する際の検疫期間の短縮についてどのように考えているのか。

平 将 明君(自民)

- ・平成19年の競馬法等の改正による日本中央競馬会改革

の効果はどうか。

- ・今回の改正案の意義、競馬関係者・競馬ファンに与える効果、影響についてはどのように考えているのか。
- ・今後中央競馬の売上の維持・向上等に向けて日本中央競馬会の事業をどのように進めていくのか。

石田 祝 稔君(公明)

- ・さとうきびの生産地から要望されている緊急生産回復対策について、どのように考えているのか。
- ・競馬場における雇用・就業機会の確保についてどのように考えているのか。
- ・農林水産大臣が定めるとされている払戻率の上限をいつ頃、どの程度に決める考えなのか。

渡辺 義 彦君(きづな)

- ・競馬に対する鹿野農林水産大臣の関心度はどの程度のものか。
- ・中央競馬と地方競馬を一本化する場合のメリット・デメリットについてどのように考えているのか。
- ・競走馬の生産農家の経営安定についてどのように考えているのか。

吉泉 秀 男君(社民)

- ・累積赤字を抱える地方競馬では、その存廃の議論が続いているが、農林水産省としての認識はどのようなものか。
- ・払戻率の下限が70%に下がれば、払戻金の減額につながり、ファンが離れていくのではないか。
- ・改正案により、払戻率の平均はどのようになるのか。

2 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律の一部を改正する法律案(参議院提出、参法第11号)

- ・提出者参議院農林水産委員長小川勝也君から提案理由の説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
(賛成 - 民主、自民、公明、きづな、社民、大地)
- ・中野渡詔子君外5名(民主、自民、公明、きづな、社民、大地)から提出された附帯決議案について、中野渡詔子君(民主)から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
(賛成 - 民主、自民、公明、きづな、社民、大地)